

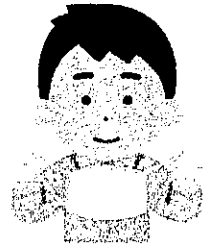
保健だより

令和5年3月6日
港区立港南中学校

ウイズコロナの学校生活

新型コロナウイルス感染症が

季節性インフルエンザと同じ扱いになります



新型コロナウイルス感染症が感染症法上の累計が5月8日より季節性インフルエンザと同じ「5類」扱いになります。

感染症法では、感染症を病原体の感染力の強さや症状の重さなどに応じて1～5類に分けています。1類はエボラ出血熱やペスト、2類は結核、3類はコレラや赤痢、4類は狂犬病、サル痘、ジカウイルス感染症、5類はウイルス性肝炎やインフルエンザなどがあります。類型ごとに建物の立ち入り制限や交通の制限、入院勧告など可能な措置がそれぞれ異なり、入院できる医療機関も累計で決められています。1、2類は感染制御の設備がある指定医療機関のみで医療費の自己負担なし。3～5類は一般の医療機関で入院でき、医療費は一部自己負担となる。

新型コロナは新しい感染症で、しかも無症状者でも感染を広げる恐れがあることがわかり2021年2月に「新型インフルエンザ感染症」と同様の入院勧告や就業制限など厳格な措置がとれる2類相当という位置づけにすることが決まり、感染者への入院勧告や就業制限、外出自粛といった隔離措置が行われてきました。その後、ワクチン接種の普及が進み、新型コロナの致死率が季節性インフルと同程度に低下し、これまでの株より重症度が低いオミクロン株が広がったこと、海外ではすでに対策を緩和していることもあり、経済社会活動と両立する「ウイズコロナ」を望む声も多かったため、日本政府は5月8日より季節性インフルエンザと同じ5類へ移行することとしました。



新型コロナが5類への移行することで、変わること

新型コロナに特別な対応を取らないことになります。入院する医療機関は限定されず、感染者や濃厚接触者が外出や就業の制限なども求められることはなくなります。保健所の健康観察もなくなり、治療検査も一部自己負担となって、配食など自宅や宿泊施設での療養支援もなくなります。ワクチンも一般の人は一部自己負担が生じる可能性があります。

マスクの着用についての政府の基本的対処方針 3月13日以降は「個人の判断」が基本

政府は3月13日からマスクの着用は屋内外を問わず、基本的に個人の判断にゆだねることを決めた。満員電車や医療機関の受診では当面着用を勧めるが、普段からマスク着用を求める感染対策は終わります。

学校での対応としては、文部科学省が、4月1日以降、基本的にマスク着用を求めないとする通知を各地の教育委員会に出した。但し、これも感染状況によります。

具体的には、3月末までは従来通りマスク着用を求めます。ただ、卒業式では校歌などを歌ったり、生徒らが呼びかけをしたりするときを除いて、教職員と児童生徒はつけないことを基本とすることとしています。咳エチケットの徹底やマスクを外すのに抵抗がある人もいるので、着脱を強制しないようにすることとなっています。



マスク着用をどう判断したらいいのか

第8波の流行期も下火になってきた今でも、他人と概ね2メートル以上の距離が取れない場合はマスク着用を推奨しています。政府の基本的対処方針分科会の尾身会長も「感染のリスクが高いことは今でも変わっていない。3年間で学んできたことだ。リスクに応じたマスクの着用の判断をみんなでしたらいいということが今回の背景にある思想だ。」と強調している。このことから、その時の感染状況や環境に応じて科学的な根拠をもとにマスクの着脱を判断すべきだということと認識しています。



ウイズコロナの学校生活での感染対策は・・・

□3月末までは従来通りの感染対策を継続する。(常時換気、手洗いの励行、マスクの着用など)

□4月からのウイズコロナの新しい学校生活は

新型コロナウイルス感染症は収束していないので、感染リスクがなくなったわけではありません。よって、人が大勢集まる学校生活は、新型コロナ禍前の季節性インフルエンザ流行期と同じように考えた方がいいと思われれます。

*常時換気を行い、手洗いの励行の感染対策は従来通り行い、密集、密接を避け、マスクの強制はしないが、咳エチケットの徹底は行う。

※咳エチケットとは、咳やくしゃみが出る人はマスクを着用する。マスクがない時は肘で抑えてする。咳やくしゃみをするときは飛沫が2メートル飛散するので人から離れてする、など、咳、くしゃみによる飛沫が飛び散らない配慮を徹底する。)

*発熱やのどの痛みなど症状がある人は登校や外出を控え自宅で療養する。受診などで外出するときはマスクを着用する。新型コロナウイルス感染症と診断された人は出席停止扱いとなる。

*万が一、クラスに一人でも新型コロナ、インフルが発生した場合は、すでに感染者がいることも想定されるので、全員マスクを着用し給食喫食は前を向いて黙食とする。

*重症化リスクの高い人は混雑したところへ行くことを控えるか、混雑した場所へ行くときはマスクを着用する。

*その他、医療機関への受診や訪問、高齢者施設への訪問時は着用を推奨。医療機関や高齢者施設の従業員は着用を推奨。混雑した電車やバスの乗車時は着用を推奨。

(朝日新聞2月11日、27日の朝刊を参考にしました。)

感染状況によって、学校内での対応は変わることがあります。一番大切なことは、感染症の蔓延を防止し生徒や地域の健康を守り、学校生活を継続させることです。そのために、今後ともご協力よろしく願いたします。